

## 大型化の進む欧州の RORO 貨物船 DFDS の「ホランディア・シーウェイズ」

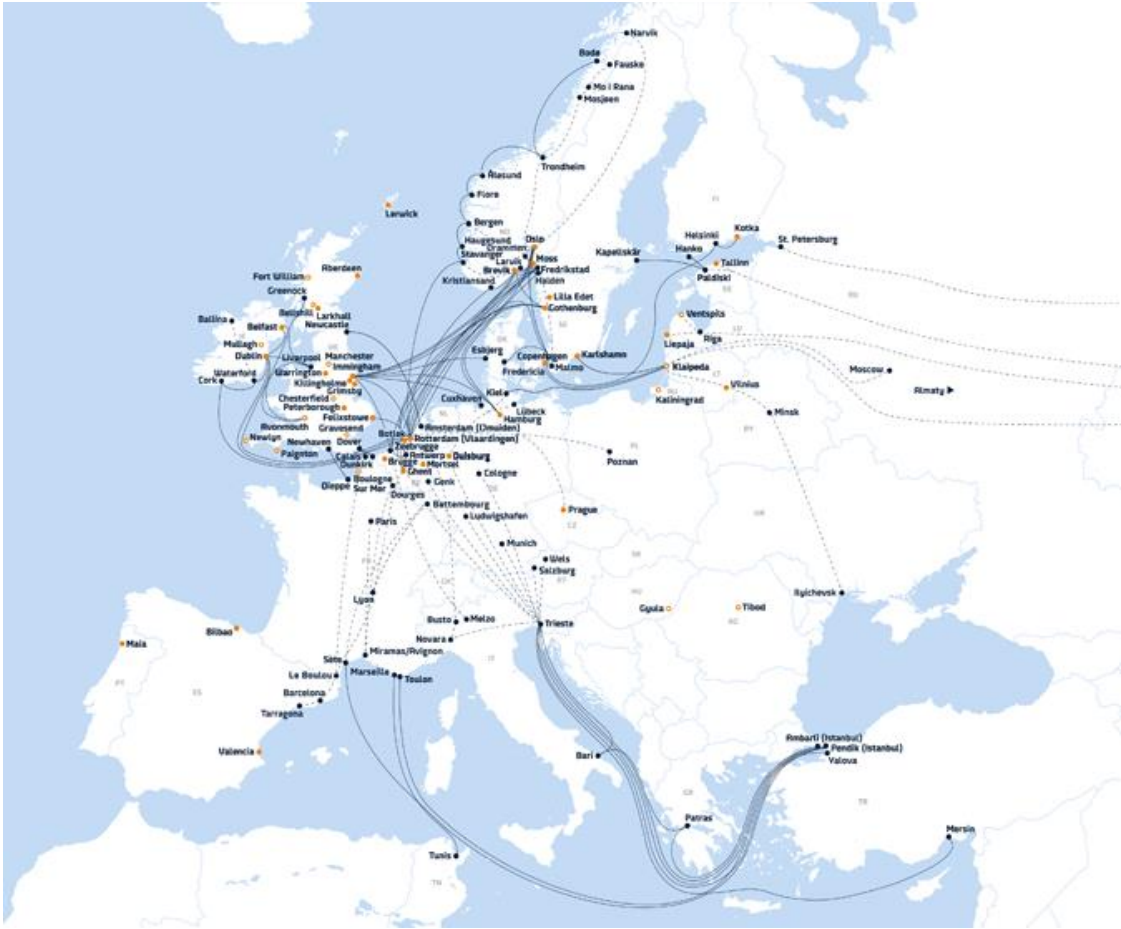
2020.8.13 池田良穂

欧州の RORO 貨物船の大型化が進んでいます。今回紹介する船は、デンマークの DFDS が連続建造する 6 隻の 6 万総トン型 RORO 貨物船シリーズの第 3 番船で、2019 年に中国の南京にある Jinling 造船所で建造された「ホランディア・シーウェイズ」です。載貨重量は 17000 トン、全長 237.4m、型幅 33m、喫水 7.4m。5 層の車両甲板をもち、総レーン長は 6695m と定期航路に就航する RORO 貨物船としては最大級です。主機は、ディーゼル 23600kW×2 基で航海速度 21.1 ノット。姉妹船としては、Ephesus Seaways、Troy Seaways、Humbria Seaways が就航しており、さらに 2 隻が建造中です。

DFDS は、デンマークの老舗フェリー会社で、当初はデンマークと北海沿岸の港町を結ぶ航路に国際フェリーを運航していましたが、現在は、地中海を含む欧州全域に航路を広げており(次ページの航路図をご覧ください)、18 隻の旅客カーフェリー(ROPAX)と、46 隻の RORO 貨物船を運航しています。



Photo: Peter Therkildsen



DFDS の RORO 貨物船サービス航路網



DFDS の旅客カーフェリー(RoPax)サービスの航路網